



News letter

No. 86
Aug. 2021

発行
国際公共経済学会事務局

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3-138 大阪市立大学経済学研究科金子勝規研究室内
E-mail: japan-office@ciriec.com <http://ciriec.com>

今号の目次

1. 第36回研究大会のお知らせ
2. 学会4賞の募集
3. 次世代研究部会・サマースクールのお知らせ
4. 春季大会報告
5. 事務局より

1. 第36回研究大会のお知らせ

(1) 大会趣旨

大会テーマ：「社会経済システムが変容した時代における持続可能性とは」

2019年12月に感染が発覚した新型コロナによる影響は、2020年には世界的に拡大し、100年に1度の未曾有の状況をもたらした。その中で、人々の社会様式にも影響を与え、オンラインによるビジネス活動が半ば主流となり、社会経済システムを容易に変容させた。デジタル化、情報化を加速させた反面、一時的な更なる少子化や交通需要の減退を生み出し、人手不足や買い物困窮者などの問題を浮き彫りにする事態が予測される。

このような中で、かねてから叫ばれていた持続可能性を実現させるためには、どのような方策が必要なのであろうか。社会経済システムの変容により、公共経済システムの各部門、社会システムはどのような問題を抱え、どのような対策が必要になるのであろうか。

本大会では、このような点に焦点を当て、現状の詳細をふまえた上で、問題を解決するための糸口を模索していきたい。

(2) 開催要領

日時：2021年12月11日（土）、12日（日）

開催方法：Web開催（Zoomによるオンライン・リアルタイムで実施）

実行委員長：森 由美子（東海大学）

実行委員：植野一芳（大東文化大学） 小熊 仁（高崎経済大学） 楠田昭二（福山大学）

藤井大輔（東京交通短期大学） 山田 航（名古屋学院大学）

(3) 大会プログラム：〈最新の情報は学会HPをご参照ください〉

(4) 報告募集

第 36 回研究大会において、報告（自由論題）を希望される方は、10 月 11 日（月）までに、「第 36 回大会報告希望」と明記し、

- ①報告テーマ、
- ②報告要旨（1,000 字程度、書式自由）、
- ③氏名・所属・連絡先（住所、電話、メールアドレス）

を下記の学会事務局宛に電子メールでお送りください。

メール：japan-office@ciriec.com

報告者は別途、報告資料(PowerPoint 等)を 1 週間前までに、上記アドレス宛にご提出願います。

大学院生（修士課程・博士課程）の報告については、「2. 学会 4 賞の募集（1）奨励賞」をご参照ください。

今後の詳細につきましては学会 HP で随時告知していきますので、ご確認ください。

2. 学会 4 賞の募集

(1) 奨励賞

12 月の研究大会における大学院生（修士課程・博士課程）の発表について、数点に「奨励賞」を授与します。大学院生は、研究大会発表に際して、この賞への応募が前提になります。

奨励賞に応募される方は **8 月 31 日（火）までに**、「奨励賞応募希望」と明記し、①奨励賞報告希望、②報告テーマ、③報告要旨（1,000 字程度）、④氏名・所属・連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）を学会事務局宛（japan-office@ciriec.com）に電子メールでお送りください（書式自由）。

応募資格：大学院修士課程・博士課程及びそれに準ずる者

事前審査：2021 年 8 月 31 日（火）までに 1,000 字程度の報告概要を提出

結果通知：2021 年 9 月 20 日（月）までに事前審査による学会報告の可否を、本人に通知します。

提出論文：本会投稿規定・要領（ニューズレター掲載）による 12,000 字のフルペーパー 3 部

（結果通知により報告が認められた方のみ、論文を提出していただきます。論文締切まで日数がないので早めにご用意ください）

論文締切：2021 年 10 月 11 日（月）（消印有効、3 部郵送。同時にメール、添付ファイルで提出）

郵送先：〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本 3 丁目 3-138

大阪市立大学経済学研究科金子勝規研究室内

国際公共経済学会 事務局

メール：japan-office@ciriec.com

※ 12 月の大会で報告希望の大学院生は必ず奨励賞に応募してください。報告が認められた方は、10 月 31 日（日）までに報告概要（4,000 字程度）の提出もお願いいたします。

(2) 学会賞・尾上賞

「学会賞」（若手の著作）、「尾上賞」（実績のある研究者の業績、学会活動への貢献）の応募を募集します。

対象期間：2019年7月1日～2021年6月30日までに公刊された会員による著書等

締切：2021年9月30日（木）

郵送先：〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3-138

大阪市立大学経済学研究科金子勝規研究室内

国際公共経済学会 事務局

※応募に際して、推薦書（自薦・他薦）、著書等を1冊お送りください。

（3）修士論文賞

2021年度提出（含む前年、前々年度提出者）の修士論文が対象となります。募集等の詳しい内容は後日お知らせいたします。

3. 次世代研究部会・サマースクールのお知らせ

日程：2021年9月5日（日）

開催方法：オンラインにて開催

実行委員長：菊地 映輝（国際大学）

実行委員：西田 亮介（東京工業大学）、原木 万紀子（埼玉県立大学）、高松 宏弥（武蔵野大学）

基調講演：白土 由佳（文教大学 情報学部 メディア表現学科 専任講師）

「社会調査としてのソーシャルリスニング ——不妊治療当事者の言説分析を事例として」

プログラム（仮）

13時00分～13時20分 開会挨拶・趣旨説明

13時20分～14時50分 基調講演（含む質疑応答、以下同様）

（10分間の休憩）

15時00分～17時00分 一般報告 3-5件程度

参加資格：不問、参加費無料

報告資格：会員、非会員、大学院生を問わず、広く政策研究を専門にしていること。

参加希望者（報告希望者含む）は8月31日（火）中までに学会HP「お知らせ」内のリンクより申し込みを行って下さい。

後日実行委員より当日の参加用ZoomのURLをメールにてお送りいたします。

4. 春季大会報告

2021年3月13日（土）にオンライン開催（東京工業大学）により、第9回春季大会が開催されました（以下敬称略）。

（1）修士論文賞報告

銭 景（東京工業大学大学院）

「日本の格差構造における外国人労働者受け入れの影響に関する実証研究」

(2) 若手・一般報告

安田 直樹 (関西学院大学大学院)

「社会的責任の実現施策として機能する公共調達の影響範囲 ～EU における Socially Responsible Public Procurement の取り組みに関する考察～」

藤原 直樹 (追手門学院大学)

「日本における公営下水道事業改革の特徴とその制約要因 —リソース・マネジメント改革モデルによる事例比較分析—」

森 瑞季 (大阪市立大学)

「ある労働統合型社会的企業の 2020 年 —組織の変革はコロナ禍の陰か表か?—」

澁谷 英樹 (南山大学)

「地方公会計に基づいた公共施設老朽化の現状」

野村 実 (大谷大学)

「地方版 MaaS の展開とその論点 —京都府舞鶴市の事例から—」

(3) シンポジウム<社会経済部会企画>

コーディネーター: 北島 健一 (立教大学)

パネリスト: 柴田 学 (金城学院大学)

「連帯経済を基盤とした地域づくりの展開」

栗本 裕見 (大阪市立大学)

「地域づくりと中間支援」

岩満 賢次 (岡山県立大学)

「中山間地域における小さな拠点づくりの場の意味と実態」

(4) 開催校企画

生貝 直人 (東洋大学)

「デジタル・プラットフォーム規制の国際的状況」

5. 事務局より

(1) 2021 年度個人会費請求

2021 年度 (2020 年 12 月 1 日～2021 年 11 月 30 日) の個人会費 10,000 円 (学生 5,000 円) をまだ納入されていない方は、近日中に入金をお願いいたします。

会費未納の会員は、学会誌受領、大会参加、連携団体会合の出席等、会員サービスを受けられないことがありますので、ご留意ください。

(2) 学会メーリングリスト

第 36 回研究大会の今後の詳細について等、メーリングリストでご連絡する予定となっております。ご登録いただいているメールアドレスに変更がある会員の方は、以下までご連絡ください。

japan-office@ciriec.com

(3) 入退会員の紹介 (理事会での承認済み)

①入会

正会員 1 名（敬称略）

竹内 純子（国際環境経済研究所）

学生会員 1 名（敬称略）

武内真弓（東洋大学）

②退会（7 名、2 団体、敬称略）

岩谷禎久、植村利男、津田直則、進藤周二、徐明玉、大藤建太、中本天望、
一般財団法人交通経済研究所、大阪ガス株式会社

(4) 今後の主な行事

第 36 回研究大会

日 程：2021 年 12 月 11 日、12 日

開催方法：Web 開催（Zoom によるオンライン・リアルタイムで実施）

実行委員長：森 由美子（東海大学）

第 10 回春季大会

日 程：2022 年 3 月

会 場：Web 開催も含めて検討中

実行委員長：岩満 賢次（岡山県立大学）

第 37 回研究大会

日 程：2022 年 12 月

開催方法：Web 開催も含めて検討中

実行委員長：楠田 昭二（福山大学）

☆学会情報は、最新のものをホームページ <http://ciriec.com/> に掲載してありますので、ご参照ください。

☆学会への連絡は、メール（japan-office@ciriec.com）か郵便にてお願いいたします。

国際公共経済学会論文執筆要領

- (1) 論文は、日本語または英文で書かれたものとして、図表を含め、12,000字以内とする。英語の場合は、日本語の枚数に換算する。表題・執筆者名・所属機関名・キーワード(5語程度)を日・英文で明記する。また、英文要旨(5行程度)を必ずつける。
- (2) 論文は、原則として横書きとし、ワープロ原稿とする。
- (3) 表記は、現代仮名遣い、常用漢字とする。
- (4) 本文に挿入する表・グラフ・地図等、文字以外の資料については、必ずそのまま原紙として使用できる状態で送付すること。挿入箇所を本文中に明示する。
- (5) 注は文中の肩に(注1)のように記し、論文末尾にまとめる。
- (6) 章・節は、1、2、1)、2)、(1)、(2)の記号による。
- (7) 引用文献は注記する。記載は以下の方法による。
 - 著書(単独)の場合執筆者名、[出版年月]、『書名』、出版社、引用ページ
 - 著書(複数)の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、編集者名、『書名』、出版社、引用ページ
 - 論文の場合執筆者名、[出版年月]、「論文名」、『雑誌名』、巻号、引用ページ
- (8) 提出:事務局に郵送にて3部提出。
 - 学会事務局から、概ね1週間以内に受領メールを出します。
 - 返信のない方は、事務局までお問い合わせください。